

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：家庭児童福祉費

事業名 結婚促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局 子育て支援課 少子化対策係 電話番号：058-272-1111(内3534)

E-mail：c11236@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,949 千円 (前年度予算額： 15,889 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	15,889	0	0	0	0	0	0	0	15,889
要求額	9,949	0	0	0	0	0	0	0	9,949
決定額	5,918	1,399	0	0	0	0	0	0	4,519

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

一年間に国内で生まれる子どもの数が令和4年で80万人を下回るなど、国全体で少子化が進んでおり、岐阜県も同様の状況にある。我が国では、出生する子どもの9割以上が婚姻関係にある男女から生まれることから、結婚に繋がる出会いの機会の提供、結婚を応援する機運の醸成等が少子化対策として重要である。

(2) 事業内容

結婚を望む人に対して出会いの機会を提供する。

(ア) 結婚を希望する県民を対象としたお見合いイベントの開催

・男女各10人程度

・1対1でのプロフィール交換及びマッチングを行う。

(イ) 結婚を希望する県民を対象とした交流会の開催

・男女各50人程度

・集客が期待できるセミナー等を同時開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

財源：一般財源

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	32	プロポーザル審査委員謝金
旅費	11	費用弁償
委託料	9,906	イベント運営業務、プロモーション業務等委託
合計	9,949	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します
財源については、地域少子化対策重点推進交付金を充当します

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4次岐阜県少子化対策基本計画

第4章

Ⅱ 若者の結婚の希望がかなえられる環境づくり

(2) 事業主体及びその妥当性

県下全域を対象に実施する事業であり、県が事業主体となることは妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

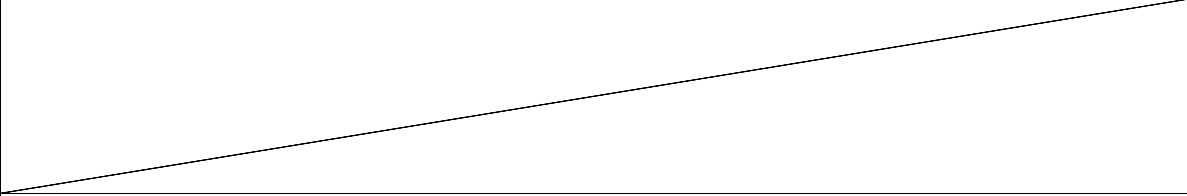
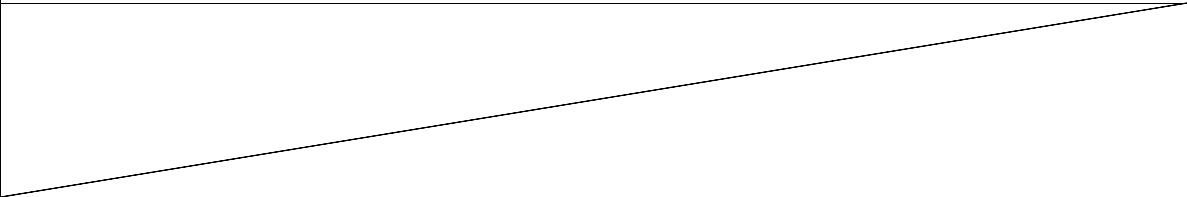
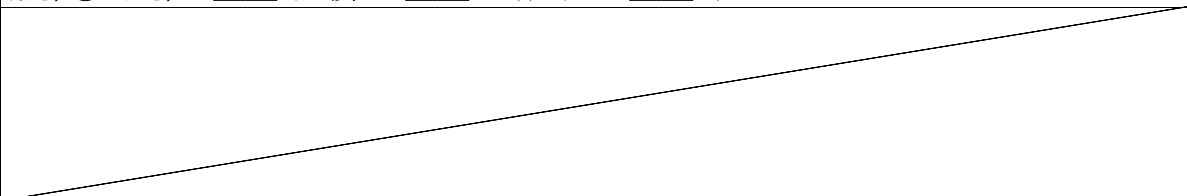
結婚を希望する県民を対象としたお見合いイベント、交流会等を開催し、結婚を希望する人に出会いの機会を提供する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
成婚報告数 (単年度)	35	27	36	36	36	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>我が国では、出生する子どもの9割以上が婚姻関係にある男女から生まれることから、結婚に繋がる出会いの機会の提供、結婚を応援する機運の醸成等が少子化対策として重要である。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 アンケート調査によりイベント満足度が高いことが明らかとなったため、多くの参加者を獲得できるよう、より積極的に広報活動を行う必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和5年8月・9月に実施したお見合いイベントについては参加者の82%が、交流会については参加者の95%が本事業を評価しており、回数増を希望する声も多数聞かれることから、次年度においても継続して本事業に取り組んでいく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	